



～愛知商業「幸せのはちみつカカオ」が大賞～

## 「商業高校フードグランプリ 2015」

### 受賞校を発表

伊藤忠食品株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長執行役員:星 秀一、以下:当社)は、全国の商業高校生がプロデュースする“食”の商品コンテスト「商業高校フードグランプリ2015」の本選を7月29日(水)・30日(木)の2日間、インテックス大阪にて開催しました。

「商業高校フードグランプリ」は、コンテストを通じて継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学ぶことで、商品の改良や次の商品開発に活かしていただくこと、地域食文化の活性化に寄与することを趣旨として2013年度より開催しています。高校生が地域の特産品を使ってメーカーと共同開発した商品を募集し53校90品の応募がありました。予選を通過した9校9品が本選に出場し、販売・接客やステージで商品をPRするプレゼンテーションを行いました。

5名の審査員による審査と来場者の投票の結果、以下のとおり大賞および各賞が決定しました。

#### 【受賞校】

賞名	学校名・商品名	商品画像
大賞	愛知県立愛知商業高等学校 「幸せのはちみつカカオ」  (高校の屋上で採れた「徳川はちみつ」とビターな味わいのガーナ産フェアトレードカカオを使用したチョコレートアイス。アイスの販売を通して消費者に貧困問題や環境問題など世界の緊急課題を伝える取り組みを実施している)	
審査員特別賞	北海道札幌東商業高等学校 「鹿つくポンッ!!」  (「鹿肉をご飯にポンとのせて食べてもらいたい」というコンセプトで鹿肉を使った醤油味のつくだ煮を開発。地元ではエゾシカによる農業被害が社会問題となっており、鹿肉を普及させたいという想いで、商品のレシピから開発に取り組んだ)	

賞名	学校名・商品名	商品画像
審査員特別賞	滋賀県立大津商業高等学校 「近江野菜の「うま飯」ディップ」  (地元特産品の鮎ずしを作る際に廃棄してしまう米の部分を有効活用したディップ。生産者の名前の付いた野菜を購入する消費者をターゲットに、地域ブランドの近江野菜の普及にも貢献したいという逸品)	
来場者賞 来場者投票により決定	愛知県立愛知商業高等学校 「幸せのはちみつカカオ」	

### 【プレゼンテーション・接客】

本選出場の9校は、1分間の商品アピールタイム、5分間のプレゼンテーション審査に出演しました。プレゼンテーション審査では、パワーポイントによるプレゼンテーション資料で商品の特徴や開発コンセプトをPRしました。また、各校が趣向を凝らして装飾したブースにて、開発した商品の試食提供・接客を行い、商品についてアピールしました。ブースでの接客やプレゼンテーションが来場者からの投票に繋がるため、お客様によって試食や説明を変えるなど臨機応変に対応していました。



## 【審査員・審査基準】

- ・大塚食品株式会社 小林 一志 様
- ・キューピー株式会社 猿渡 守 様
- ・株式会社日本食糧新聞社 田中 秀哉 様
- ・当社 商品統括部 角田 憲治
- ・当社 ギフト事業部 新関 京子

上記審査員による、「味」「独創性」「ネーミング・パッケージ」「価格の妥当性」「商品の発展性・流通性」「地域活性化」の評価項目に準じた審査を実施いたしました。



## 【表彰式】

愛知県立愛知商業高等学校が昨年引き続き、2年連続で大賞を受賞しました。昨年大賞を受賞した被災地支援型アイスから更に工夫を重ね、消費者に貧困問題や環境問題の現状を伝えたいという熱い想いが詰まった商品・プレゼンテーションの完成度の高さに審査員も満場一致の高評価。来場者による投票でも獲得票数1位となり、来場者賞とのダブル受賞となりました。

審査員特別賞は、「鹿肉の臭みが全くなく食べやすい」と審査員からも好評を得た北海道札幌東商業高等学校の「鹿つくポンツ!!」そして、鮎ずしを作る際に廃棄される米を使用しているという驚きと、地域ブランドの普及に着目した商品展開が評価された滋賀県立大津商業高等学校の「近江野菜の「うま飯」ディップ」の2校が受賞しました。

また、惜しくも賞を逃してしまった出場校には、その努力を称え伊藤忠食品社長賞が贈られました。



## 【伊藤忠食品の商業高校への教育支援の取り組みについて】



2013年度より商業高校(商業科を有する高校)では、新学習指導要領のひとつに「商品開発」が導入されました。当科目は、商品の開発だけでなく流通に必要な知識や技術を体験的に習得することが求められています。食品の中間流通業を営む当社は、本業を活かしたCSR(企業の社会的責任)の一環として、人材育成の観点から、商業高校の教育支援を行っています。

「商業高校フードグランプリ」は、出品を通じて継続的に流通・販売可能な商品の条件や課題を学ぶことで、商品の改良や次の商品開発に活かしていただくこと、地域食文化の活性化に寄与することを趣旨として2013年度より開催しています。

当社は、未来を担う高校生への教育を継続的に支援するとともに、地域活性化に繋がる商品の販売を推進してまいります。この取り組みは、「CSR(企業の社会的責任)」にとどまらず、「人材の育成」「地域活性化」という社会と共有できる価値を創造しながら、商業高校が開発した商品を本業の卸売と結び付ける「CSV(共有価値の創造)」への発展を目指しております。今後も、社会に必要とされる存在意義のある企業を目指して取り組んでまいります。

以上

### 【本件に関するお問い合わせ先】

TEL : 03-5411-8513

mail : [t-hoshi@itochu-shokuhin.co.jp](mailto:t-hoshi@itochu-shokuhin.co.jp) / [y-fukuman@itochu-shokuhin.co.jp](mailto:y-fukuman@itochu-shokuhin.co.jp)

担当 : 伊藤忠食品株式会社 経営企画本部 経営戦略部

部長 星 利夫 / IR広報・CSRチーム 福万 由希子